

国の交付金活用方法は

町長／住民の安全、経済活動の維持を図る



さ さ き た か お
佐々木 隆雄 議員

佐々木(隆)

国は新型コロナウイルス感染症対策に「地方創生臨時交付金」「緊急包括支援交付金」を確保した。この2つの交付金を町ではどう活用しているのか、また、今後の予定は。

町長

地方創生臨時交付金は、雇用維持助成金、経営安定補助金、プレミアム商品券など事業所支援、各施設へマスクの配布、子育て世帯へ経済支援、感染症対策資器材の整備、高速



アクリル板設置

緊急包括支援交付金は、デイサービスセンターへのアクリル板や、オンライン面会のためのタブレットなど、感染症対策資器材の購入費として活用している。

介護保険利用者負担軽減を

町長／予定はない

佐々木(隆)

厚生労働省はコロナ感染症拡大で大幅な減収となっている介護保

険事業所対象に、特別措置として、利用者の同意を条件に提供したサービスを上回る介護報酬の算定を認めたが、「仕方なく同意し6月分から料金が引き上げられた」との声が寄せられている。利用者負担の増額分について、町独自に助成する考えは。

町長

通所系サービス及び短期入所サービス利用者の同意が得られた場合、2区分上位の報酬区分を適用可能で、一部デイサービスセンターも臨時的に適用しているが、臨時的措置に伴う増額負担分の軽減制度をする予定はない。

子ども均等割額減免を

町長／慎重に判断したい

佐々木(隆)

国保税で、子どもの数に応じてかかる均等割額について、独自に減免する自治体が増えてきている。町でも実施してはどうか。

町長

県に確認したところ、納税者の負担能力によって決定すべきで画一的な減免は適当でないとのこと、慎重に判断したい。

預かり時間・開館時間の延長を

町長／必要性を検討したい

佐々木(隆)

児童クラブ、麻生児童館の閉館時間が早い。ため利用できない。また、塾やクラブ活動で開館時間中に間に合わない中高生もいる。時間延長を検討しては。

町長

児童クラブはアンケート調査の結果から30分延長して運営しており、苦情は聞いていない。麻生児童館の開館時間は時季に合わせ、暗くなる前に帰宅するよう設定している。緊急性や必要性を鑑み検討したい。



にしおか としまさ
西岡 利昌 議員

コロナ禍における基幹産業の維持について

町長／砥部焼・農業ともに支援

西岡

現在、国内外ともに新型コロナウイルス感染症拡大防止と経済活動の両立という大変難しい問題に直面している。本町での経済活動、特に基幹産業である砥部焼と農業を維持していくための対策は、

町長

砥部焼関連では、事業者各自が実施するイベント市など販売イベント



令和2年10月31日開催のとべやき市

トのPRやオンライン販売の準備など、販売推進に向けた支援を行っている。また、第2弾のプレミアム商品券事業なども予定し、対策を実施している。農業では、高収益作物次期作支援交付金や、感染症対策を行い、販路回復、機械設備の導入に取り組みる農業者への経営継続補助金など、農業経営者を支援する取り組みを実施している。

公共施設のあり方について検討を

町長／計画に基づき更新・統廃合を進める

西岡

人口減少が進む中、本町における公共施設の新設は必要最小限にとどめ、既存施設の有効利用や近隣の自治体と連携し施設の相互利用を図っては。また、赤字経営の施設については統廃合するなど、今後のあり方を十分に検討し、スピード感を持って対応すべきでは。

町長

本町では平成25年度末に、公共施設の今後のあり方と長寿命化に関する指針を定め、平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画に基づき、財政負担の平準化を図りつつ、公共施設の更新、統廃合を進めている。これにより、広田地区小学校の統合、学校給食セン



庁舎外観

ターの統合改築、中央公民館の大規模改修、総合福祉センターはらまの建設など、利用者の利便性・安全性の向上を図っている。公共施設のあり方については、近年の人口減少、多様化する住民ニーズに対応した公共サービスの提供を維持しつつ、施設の最適化と民間活力の活用を幅広く検討していきたい。